虹の松原だより

第25号
発行日：2013年3月1日
発行者：NPO法人KANNE

株式会社伊藤園様より

2月13日（水）、株式会社伊藤園様が、虹の松原や有明海の環境保全に役立ててほしいと佐賀県に31万円のご寄付をなさいました。これは、昨年5月～8月に「お～いお茶」シリーズ飲料商品の売り上げの一部を、地域に還元するキャンペーン「お茶で佐賀を美しく。」によるものです。他にも、伊藤園様の社員の皆様には虹の松原の一斉再生・保全活動にも参加して頂いたり、その時の参加者の皆様にお茶をご提供いただきました。ありがとうございました！

今年度、最後の一斉活動!!

落枝・松ぼっくりひろい

マツバライザーKと松葉かきをしたよ!!

まもる君も記念撮影

2月3日（日）、白砂青松の虹の松原を取り戻すために、今年度最後となる一斉再生・保全活動を行いました。寒い中でしたが、約160名の方にご参加頂き、除草作業と松葉かきに分かれて活動をしました。活動前と活動後では、見違える程きれいになり、達成感等を感じて頂けたと思います。ご参加頂き誠にありがとうございました。来年度も4回の一斉活動を予定しておりますのでぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。また、今回は虹の松原ホテル様のご協力で「ぜんざい」のふるまい、JAからつ様より「温かいからつ茶」のふるまいをいただきました。誠にありがとうございました。さらには、佐賀市にある松原神社で生まれたヒーロー「マツバライザーK」にも活動に参加していただき、かっこいいショーまでしていただきました！今までとは違いお子様にも楽しい一斉活動になりました。

私たちは虹の松原再生・保全活動に取り組んでいます

唐津ビジネスカレッジ

本校は2010年から虹の松原の再生・保全活動を始めました。

最初は、見慣れない植物を指しては「これはなんですか？」と質問をしたり、集めたものが再利用されていることを知ったり、虹の松原の現状と保全について多くのことを学ぶことができました。

このような活動を通じて、松原が今の姿のままでずーとあり続けるように、学生の郷土を大切にする気持ちを育てていきたいと思います。

虹松まもるくん日記!!

～まもるギネスに挑戦!!～

ボクの得意なダンスはひげダンス!!どこでも踊れるよ!!

【第3回 虹の松原の匠養成講座（2月9日・17日・3月3日開催）】

毎年1回開催している「虹の松原の匠養成講座」が始まりました。今年は20名の方に受講していただいております。虹の松原についてより詳しくなって頂き、これから「匠」として、虹の松原の現状をより多くの人に伝えていただいたり、一斉活動等でサポーターとして活躍していただければと願っています!!

イベント情報

■ 虹の松原フェスティバル■

～松原から愛を込めて～

〇開催日時：3月23日（土）10:00～15:00
〇受付開始：9:30～
〇受付場所：東の浜海浜公園内
〇内容：各種イベント・松原ツアー・展示・物販
〇駐車場：虹の松原西口交差点東側・西側駐車場
〇雨天時：翌日24日に延期（朝6時に判断）
〇参加費：イベント・ツアーに参加する場合、保険料として当日100円／人 いただきます。

詳しくは、虹の松原フェスティバルのチラシを見てね!!

ありがとう!!ふるさと納税

「ふるさと納税」の「佐賀の自然ば守らんば!（白砂青松の虹の松原）」にお寄せいただいた寄付金にて、リヤカー2台、子ども用松葉ほうき100本、子ども用軍手100双を寄贈頂きました。虹の松原を白砂青松にすべく、大切に使います!!これからは幼稚園・保育園生とも一緒に活動していきたいです。

松原探Q ～もっと虹の松原を知ろう！～

今回も素敵なプレゼントをご用意しております！

唐ワンくんグッズも取り扱っている
有限会社すえひろ様より
「おたのしみ袋」　（1名様）

さて、今回の問題は…コチラ↓↓

〈問題〉今話題の松枯れ。その原因はなに？
①マツノザイセンチュウがマツの樹体内に侵入して悪さをしている
②マツノマダラカミキリがマツに卵を産み付ける
③マツノザイセンチュウがマツの中にいない

マツノザイセンチュウはもともと日本にいなかったんだよ！
応募はハガキかFAX、メールで♪（〆切　3月25日必着）
［必要事項］
問題の答え、住所（プレゼント発送先）、氏名（所属団体）年齢、電話番号を記載の上、当会宛にお送りください。
★前回の答えは、③347号線でした!!
☆前回当選者☆
（脇山忠商店様より松原おこし）
M・T様（唐津市）　おめでとうございます。

教えて、川浪先生！【連載10】

今回はクロガネモチ（モチノキ科）についてのお話です。

松原内は紅葉も終わり寂しい季節の中、私達の目を楽しませてくれるのが、赤や赤橙色の木の実をつけるクロガネモチです。山野に自生する雌雄異株の木です。庭木、公園、神社、街路樹などに植栽されています。庭木とし珍重されるのは、実のつき方が賑やかで、濃緑色の葉と赤色の実の対比が目立つからです。また、「クロガネモチ」は「金持ち」に通じるから、縁起木として好まれるところや、火災を防ぐために家の周りに植えた、というところもあります。野鳥が実を運び庭などに野生することもあります。クロモチ、ハトモチ、ナリキンモチなどの方言がありますが、植木屋さんはシロキ、シラキとも呼びます。幹が白色をしているからです。幼少の頃、モチノキの代用としてこの木の皮を利用して「とりもち」をつくり、メジロ取りに利用したものです。松原内には実をつけたクロガネモチも多く、小鳥たちが食事に来ます。食後に糞をして、松原内のクロガネモチを広げました。

今朝も我が家のクロガネモチにはヒヨドリが来ています。

一定区画を受け持って 再生・保全活動をしてみませんか！？

再生・保全活動とは、白砂青松の美しい虹の松原に育て守って行こうという活動です。具体的には、松の落ち葉をかき集めること（松葉かき）や除草作業です。

・どなたでも活動に参加できます！
・好きな時、好きな時間に活動ができます！
・道具等も準備します！
・ボランティア証明書も発行できます！
・ボランティア保険にも加入します！
（費用は当会が負担します）

再生・保全活動登録者の動き！

【団体】142団体（±0団体）
【個人】42 人　（±0人）
【人数】5145人（±0人）　平成25年2月28日現在

2月の再生・保全活動の状況！

【団体】のべ10団体
【個人】のべ11人
【人数】のべ471人
※当会が把握している情報により

NPO法人唐津環境防災推進機構KANNE（かんね）
〒847-0013　佐賀県唐津市南城内2-6
TEL　0955-80-7060　FAX 0955-80-7061 E-mail　kanne@psc.bbiq.jp
http://www.karatsucity.com/~kanne/pine_field/

※私たちは虹の松原保護対策協議会の委託を受け、松原の再生・保全活動に取り組んでいます。